

平成25年度授業シラバスの詳細内容

科目名(英)	地域福祉論(Communit Welfare)	授業コード	E028901
担当教員名	河村 裕次		
配当学年	3	開講期	前期
必修・選択区分	選択	単位数	2
履修上の注意または履修条件	社会福祉士国家試験受験希望者は必修科目となっています。		
受講心得	見ること、聞くこと、真剣に考えること、そして、自分の意見を持つことを心がけてください。		
教科書			
参考文献及び指定図書	<p>【推奨テキスト】 川村匡由(2009)『地域福祉の理論と方法』久美出版 ※推奨テキストを中心に講義を行いますので、購入をお勧めします。</p> <p>【参考テキスト】 社会福祉士養成講座編集委員会編(2010)『地域福祉の理論と方法』中央法規 坪井真編(2009)『地域福祉の理論と方法』みらい 上野谷加代子他(2007)『よくわかる地域福祉』ミネルヴァ書房 ※その他参考テキストについては、講義時に随時紹介します。</p>		
関連科目	コミュニティワーク論, 社会福祉原論, 高齢者福祉論, 障害者福祉論, 児童福祉論, 福祉行財政		

授業の目的	こんにちの社会福祉は地域福祉が中心となり展開されています。各地で多くの実践がなされることにより、その理論構築も進んでいます。本講義では、地域福祉についての基礎的知識の習得を目指します。
授業の概要	地域福祉概念や理念、発展過程や地域福祉の主体と対象について講義・視聴覚教材を用い地域福祉の基礎的知識の習得をはかります。

○授業計画	
学修内容	学修課題(予習・復習)
第1週：オリエンテーション・今、なぜ、地域福祉か 本講義の目的および到達目標等について説明します。 今日、社会福祉の中心として位置づけられている地域福祉について概説します。	配布資料
第2週：地域福祉の意味 地域福祉が必要とされる理由について、①地域福祉の概要、②人々の生活課題と地域社会、③生活課題を解決するためのバリアフリーの3点から説明します。	配布資料 小テスト
第3週：地域福祉の基本的な考え方 地域の意味するものについて、事例を用い説明します。また地域福祉が対象とするものについて説明します。	配布資料 小テスト
第4週：地域福祉の概念と範囲① 社会福祉における地域福祉の位置づけ、コミュニティの定義についてヒラリー、テンニース等の定義をもとに考えていきます。	配布資料 小テスト
第5週：地域福祉の概念と範囲② わが国における地域福祉の捉え方(概念)について、1950年代以降の社会福祉の変遷と照らし合わせながら考えていきます。さらに地域福祉に求められる4つの要件について説明します。	配布資料 小テスト
第6週：地域福祉の理念 地域福祉を実践していく上で求められてくる人権尊重と権利擁護について、諸外国の取り組み、日本での取り組みを説明します。	配布資料 小テスト
第7週：地域福祉の発展過程① 地域福祉の変遷として、まず世界において初めて地域福祉が展開されたイギリスを取り上げます。イギリスでのコミュニティケアが誕生した背景とその発展について説明します。	配布資料 小テスト

第8週：地域福祉の発展過程② 北欧での地域福祉の発展について説明します。特にわが国の地域福祉にも影響を与えたノーマライゼーションを概説します。	配布資料 小テスト
第9週：地域福祉の発展過程③ わが国の地域福祉発展に大きな影響を与えたアメリカでのコミュニティオーガニゼーションが誕生した背景とその発展について説明します。	配布資料 小テスト
第10週：地域福祉の発展過程④ わが国における地域福祉の発展を4つに時期に分けて説明します。本時では、準備期(1945～1951)、胎動期(1952～1972)について、地域福祉活動の展開、社会福祉協議会の創設、コミュニティオーガニゼーションの浸透とわが国にへの影響について説明します。	配布資料 小テスト
第11週：地域福祉の発展過程⑤ 本時では、地域福祉の発展過程のうち、定礎期(1973～199)、発展期(1991～)について、在宅福祉サービスをキーワードに説明します。	配布資料 小テスト
第12週：地域福祉におけるアウトリーチ 地域福祉にお変えるアウトリーチ地について、①アウトリーチの意味、②対象とする福祉ニーズとは何か、③地域福祉におけるアウトリーチについて説明します。	配布資料 小テスト
第13週：地域福祉の主体と対象① 地域福祉の主体と対象について、本時では『地域における「新たな支え合い」を求めて』(これからの地域福祉のあり方に関する研究会報告書)や事例をもとに、地域福祉の主体・担い手について説明します。	配布資料 小テスト
第14週：地域福祉の主体と対象② 地域福祉の主体と対象について、本時では、「自助・共助・公助」をキーワードに、地域福祉の主体と対象のあり方について説明します。	配布資料 小テスト
第15週：社会福祉基礎構造改革と社会福祉法 今日の社会福祉や地域福祉の転換期となった社会福祉基礎構造改革の意義・目的や内容について説明します。また地域福祉の根拠法ともいえる社会福祉法について概説します。	配布資料 小テスト
第16週：期末試験 論述式(90分)の試験を実施します。 ※出題方法等に変更の場合があります。期末試験の詳細は第15週目にお伝えします。	
授業の運営方法	(1)授業の形式 「講義形式」 (2)複数担当の場合の方式 (3)アクティブ・ラーニング
備考	講義内容については、進行状況等により変更する場合があります。

○単位を修得するために達成すべき到達目標	
【関心・意欲・態度】	
【知識・理解】	地域福祉の概念と理念を理解している。 地域福祉の主体と対象について理解している。
【技能・表現・コミュニケーション】	わが国及び諸外国における地域福祉の発展過程について説明することができる。
【思考・判断・創造】	今日の社会福祉における地域福祉の意義と役割について考察することができる。

○成績評価基準(合計100点)			合計欄	100点
到達目標の各観点と成績評価方法の関係および配点	期末試験・中間確認等 (テスト)	レポート・作品等 (提出物)	発表・その他 (無形成果)	
【関心・意欲・態度】 ※「学修に取り組む姿勢・意欲」を含む。				
【知識・理解】 ※「専門能力(知識の獲得)」を含む。	50点			
【技能・表現・コミュニケーション】 ※「専門能力(知識の活用)」「チームで働く力」「前に踏み出す力」を含む。	25点			
【思考・判断・創造】 ※「考え抜く力」を含む。	25点			
(「人間力」について) ※以上の観点到、「こころの力」(自己の能力を最大限に発揮するとともに、「自分自身」「他者」「自然」「文化」等との望ましい関係を築き、人格の向上を目指す能力)と「職業能力」(職業観、読解力、論理的思考、表現能力など、産業界の一員となり地域・社会に貢献するために必要な能力)を加えた能力が「人間力」です。				

○配点の明確でない成績評価方法における評価の実施方法と達成水準の目安	
成績評価方法	評価の実施方法と達成水準の目安
レポート・作品等 (提出物)	
発表・その他 (無形成果)	